

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 国際石油開発帝石株式会社

上場取引所 東

コード番号 1605 URL <http://www.inpex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニットジェネラルマネージャ (氏名) 板野 和彦

TEL 03-5572-0233

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	615,979	△33.2	335,755	△44.1	320,774	△42.9	80,690	△42.7
21年3月期第3四半期	922,643	—	600,887	—	561,872	—	140,860	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	34,285.38	—
21年3月期第3四半期	59,806.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	1,948,916	1,452,740	69.4	574,614.08
21年3月期	1,768,044	1,362,060	71.9	540,100.10

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 1,352,350百万円 21年3月期 1,271,122百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4,000.00	—	4,000.00	8,000.00
22年3月期	—	2,500.00	—		
22年3月期 (予想)				2,500.00	5,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	823,000	△23.5	434,000	△34.6	412,000	△33.1	100,000	△31.1	42,490.02

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	2,358,410株	21年3月期	2,358,410株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	4,916株	21年3月期	4,916株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	2,353,494株	21年3月期第3四半期	2,355,260株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、円/米ドル等の為替レート、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は5ページを参照してください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間は原油・天然ガス販売量が増加したものの、平均油価・ガス価が下落したことや、平均為替レートが円高に推移したことから、売上高は前年同期比306,664百万円、33.2%減の615,979百万円となりました。このうち原油売上高は前年同期比209,707百万円、36.8%減の359,736百万円、天然ガス売上高は前年同期比94,831百万円、28.6%減の236,735百万円となりました。当第3四半期連結累計期間の販売数量は、原油が前年同期比1,760千バレル、3.1%増加の57,738千バレルとなりました。天然ガスは、前年同期比18,354百万立方フィート、6.3%増加の310,071百万立方フィートとなりました。このうち、海外生産天然ガスは、前年同期比19,657百万立方フィート、7.9%増加の267,195百万立方フィートとなり、国内生産天然ガスは、前年同期比35百万立方メートル、2.9%減少の1,149百万立方メートル、立方フィート換算では42,875百万立方フィートとなっております。海外生産原油売上の平均価格は1バレル当たり66.08米ドルとなり、前年同期比30.26米ドル、31.4%の下落となりました。海外生産天然ガス売上の平均価格は千立方フィートあたり7.25米ドルとなり、前年同期比3.36米ドル、31.7%の下落となりました。なお、国内生産天然ガスの平均価格は立方メートルあたり36円69銭となり、前年同期比1円16銭、3.1%の下落となっております。売上高の平均為替レートは1米ドル93円34銭となり、前年同期比11円07銭、10.6%の円高となりました。

売上高の減少額3,066億円を要因別に分析しますと、原油・天然ガスの販売数量の増加により470億円の増収要因、販売単価の下落により2,861億円の減収要因、為替は円高により654億円の減収要因、その他の売上高は21億円の減収要因となりました。

一方、売上原価は、主にADMA鉦区における売上減に伴うロイヤリティの減少により前年同期比34,947百万円、13.8%減の218,772百万円となりました。探鉦費は主にオセアニアの探鉦活動の減少により前年同期比6,932百万円、38.0%減の11,322百万円、販売費及び一般管理費は前年同期比347百万円、0.7%増の50,129百万円となりました。以上の結果、営業利益は前年同期比265,132百万円、44.1%減の335,755百万円となりました。

営業外収益は、受取利息や受取配当金が減少したことから前年同期比13,967百万円、56.9%減の10,595百万円となりました。営業外費用は、為替差損が増加したものの、マセラ鉦区における探鉦活動の減少に伴う生産物回収勘定引当金繰入額が減少したことや、前年同期に計上した投資有価証券評価損が当期は大幅に減少したことから前年同期比38,001百万円、59.8%減の25,576百万円となりました。この結果、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は前年同期比241,097百万円、42.9%減の320,774百万円となりました。

法人税、住民税及び事業税は200,320百万円、46.1%減の233,933百万円、法人税等調整額は△1,407百万円、少数株主利益は7,558百万円となり、以上の結果四半期純利益は前年同期比60,170百万円、42.7%減の80,690百万円となりました

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

製品の単価の下落及び原油・天然ガス販売量の減少により、売上高は前年同期比6,500百万円、9.2%減の64,315百万円、営業利益は前年同期比5,294百万円、20.1%減の21,059百万円となりました。

②アジア・オセアニア

原油・天然ガス販売量は増加したものの、油価及びガス価の下落により、売上高は前年同期比106,566百万円、28.7%減の264,376百万円、営業利益は前年同期比118,988百万円、46.0%減の139,923百万円となりました。

③ユーラシア(欧州・NIS諸国)

ACG油田における原油販売量は増加したものの、油価下落により、売上高は前年同期比13,114百万円、20.9%減の49,733百万円、営業利益は前年同期比5,535百万円、17.0%減の27,004百万円となりました。

④中東・アフリカ

油価下落及びADMA鉦区における原油販売量の減少に伴い、売上高は前年同期比186,415百万円、45.3%減の225,052百万円、営業利益は前年同期比135,900百万円、47.0%減の153,218百万円となりました。

⑤米州

油価下落はあったものの、原油販売量の増加により、売上高は前年同期比5,933百万円、90.3%増の12,502百万円、営業利益は前年同期比1,195百万円増の798百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,948,916百万円となり、前連結会計年度末の1,768,044百万円と比較して180,871百万円の増加となりました。資産増加の主な内訳は、カシャガン油田等への投資により生産物回収勘定が48,633百万円増加したことに加え、直江津LNG受入基地建設工事等により有形固定資産が41,336百万円増加したことによるものであります。

一方、負債は496,176百万円で、前連結会計年度末の405,984百万円と比較して90,191百万円の増加となりました。このうち流動負債は278,527百万円で、前連結会計年度末比72,467百万円の増加、固定負債は217,648百万円で、前連結会計年度末比17,723百万円の増加となりました。

純資産は1,452,740百万円となり、前連結会計年度比90,679百万円の増加となりました。このうち、少数株主持分は100,389百万円で、前連結会計年度比9,451百万円の増加となりました。

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首の162,844百万円に当第3四半期連結累計期間中に増加した資金39,607百万円を加えた202,452百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比31,819百万円減の178,188百万円となりました。これは、主に油価下落に伴う税金等調整前四半期純利益及び法人税等の支払額の減少によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比24,308百万円減の171,385百万円となりました。これは、主に投資有価証券の取得による支出が減少したことによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、前年同期は47,370百万円の資金を使用しましたが、当第3四半期連結累計期間は38,511百万円の資金を得ております。これは、短期借入金の純増減額の増加や長期借入れによる収入の増加に加え、長期借入金の返済による支出が減少したことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結通期業績予想につきましては、平成22年3月期第3四半期連結累計期間の実績を加味し、さらに第4四半期の原油価格の前提などを見直した結果、平成21年11月4日に公表の数値から下記のとおり修正を行いました。

連結通期業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	778,000	388,000	372,000	86,000
今回修正予想 (B)	823,000	434,000	412,000	100,000
増減額 (B - A)	45,000	46,000	40,000	14,000
増減率 (%)	5.8	11.9	10.8	16.3

上記見通しは以下の前提により算出しております。

	前回発表予想		今回修正予想	
原油価格 (ブレント)	上期(実績)	64.4ドル/バレル	上期(実績)	64.4ドル/バレル
	下期	65.0ドル/バレル	下期 ※1	72.8ドル/バレル
	通期平均	64.7ドル/バレル	通期平均	68.6ドル/バレル
為替 (対米ドル)	上期(実績)	95.5円/ドル	上期(実績)	95.5円/ドル
	下期	90.0円/ドル	下期 ※2	89.9円/ドル
	通期平均	92.8円/ドル	通期平均	92.7円/ドル

※1 第3四半期実績 75.6ドル/バレル、及び第4四半期予想 70.0ドル/バレルによる。

※2 第3四半期実績 89.7円/ドル、及び第4四半期予想 90.0円/ドルによる。

なお、当社販売の原油価格は油種毎に価格が異なり、ブレントに比べ価格差があります。価格差は油の品質等により異なり、また、市況等により価格差も一定ではありません。当社販売の原油価格は一部を除きブレントに比べ低い価格になっております。

4. その他

該当事項はありません。

5.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	143,272	117,393
受取手形及び売掛金	96,534	73,540
有価証券	163,652	149,507
たな卸資産	13,108	18,205
その他	71,370	52,491
貸倒引当金	23	28
流動資産合計	487,914	411,110
固定資産		
有形固定資産	338,972	297,635
無形固定資産		
のれん	109,813	114,883
その他	132,229	138,797
無形固定資産合計	242,042	253,680
投資その他の資産		
投資有価証券	370,276	344,698
生産物回収勘定	502,555	453,922
その他	115,323	106,262
貸倒引当金	490	528
生産物回収勘定引当金	92,969	87,828
探鉱投資引当金	14,708	10,907
投資その他の資産合計	879,986	805,618
固定資産合計	1,461,001	1,356,934
資産合計	1,948,916	1,768,044
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,083	11,873
短期借入金	52,427	27,816
未払法人税等	87,127	70,419
探鉱事業引当金	11,018	7,948
役員賞与引当金	117	134
その他	114,751	87,867
流動負債合計	278,527	206,059
固定負債		
長期借入金	156,741	136,430
退職給付引当金	8,061	8,545
廃鉱費用引当金	14,008	14,192
開発事業損失引当金	1,964	1,964
特別修繕引当金	437	404
その他	36,435	38,387
固定負債合計	217,648	199,924
負債合計	496,176	405,984

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	418,477	418,477
利益剰余金	910,225	844,832
自己株式	5,248	5,248
株主資本合計	1,353,454	1,288,062
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,383	6,817
繰延ヘッジ損益	-	0
為替換算調整勘定	10,487	10,121
評価・換算差額等合計	1,104	16,939
少数株主持分	100,389	90,938
純資産合計	1,452,740	1,362,060
負債純資産合計	1,948,916	1,768,044

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	922,643	615,979
売上原価	253,720	218,772
売上総利益	668,923	397,207
探鉱費	18,254	11,322
販売費及び一般管理費	49,781	50,129
営業利益	600,887	335,755
営業外収益		
受取利息	5,967	3,303
受取配当金	10,568	3,235
持分法による投資利益	1,315	-
その他	6,711	4,056
営業外収益合計	24,562	10,595
営業外費用		
支払利息	3,547	864
持分法による投資損失	-	941
生産物回収勘定引当金繰入額	15,265	3,170
探鉱事業引当金繰入額	2,394	4,420
投資有価証券評価損	30,152	-
為替差損	5,143	10,122
その他	7,075	6,056
営業外費用合計	63,578	25,576
経常利益	561,872	320,774
税金等調整前四半期純利益	561,872	320,774
法人税、住民税及び事業税	434,254	233,933
法人税等調整額	15,110	1,407
法人税等合計	449,364	235,340
少数株主利益	1,868	7,558
四半期純利益	140,860	80,690

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	561,872	320,774
減価償却費	31,799	29,947
のれん償却額	5,070	5,068
生産物回収勘定引当金の増減額(は減少)	18,049	5,568
探鉱事業引当金の増減額(は減少)	3,477	3,147
退職給付引当金の増減額(は減少)	219	484
廃鉱費用引当金の増減額(は減少)	1,100	171
その他の引当金の増減額(は減少)	2,125	3,774
受取利息及び受取配当金	16,535	6,539
支払利息	3,547	864
為替差損益(は益)	5,131	1,628
持分法による投資損益(は益)	1,315	941
投資有価証券評価損益(は益)	30,152	-
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	35,265	35,572
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	25,055	8,863
売上債権の増減額(は増加)	58,256	23,375
たな卸資産の増減額(は増加)	936	5,033
仕入債務の増減額(は減少)	11,481	1,157
未収入金の増減額(は増加)	30,048	23,003
未払金の増減額(は減少)	48,242	27,611
その他	2,862	8,653
小計	674,166	387,306
利息及び配当金の受取額	16,620	7,963
利息の支払額	5,031	1,362
法人税等の支払額	475,746	215,717
営業活動によるキャッシュ・フロー	210,008	178,188
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	3,059	6,321
定期預金の払戻による収入	3,295	2,774
有形固定資産の取得による支出	57,031	68,515
有形固定資産の売却による収入	314	80
無形固定資産の取得による支出	2,592	735
有価証券の取得による支出	19,082	-
有価証券の売却による収入	96,313	77,320
投資有価証券の取得による支出	132,203	86,765
投資有価証券の売却による収入	6,510	-
生産物回収勘定(資本支出)の支出	84,723	75,694
短期貸付金の増減額(は増加)	45	36
長期貸付けによる支出	2,972	6,232
長期貸付金の回収による収入	725	23
その他	1,142	7,355
投資活動によるキャッシュ・フロー	195,694	171,385

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	15,602	26,226
長期借入れによる収入	11,800	29,741
長期借入金の返済による支出	59,817	3,667
少数株主からの払込みによる収入	7,101	1,720
自己株式の取得による支出	3,048	-
配当金の支払額	18,837	15,308
少数株主への配当金の支払額	81	81
その他	90	118
財務活動によるキャッシュ・フロー	47,370	38,511
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,329	5,707
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	38,385	39,607
現金及び現金同等物の期首残高	222,269	162,844
現金及び現金同等物の四半期末残高	183,884	202,452

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

全セグメントの売上高及び営業利益の合計額に占める石油・天然ガス関連事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

全セグメントの売上高及び営業利益の合計額に占める石油・天然ガス関連事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	ユーラシア (欧州・ NIS諸国) (百万円)	中東・ アフリカ (百万円)	米州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	70,816	370,942	62,848	411,468	6,568	922,643	—	922,643
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	70,816	370,942	62,848	411,468	6,568	922,643	—	922,643
営業利益(又は営業損 失(△))	26,353	258,911	32,539	289,118	△396	606,525	(5,638)	600,887

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	ユーラシア (欧州・ NIS諸国) (百万円)	中東・ アフリカ (百万円)	米州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	64,315	264,376	49,733	225,052	12,502	615,979	—	615,979
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	64,315	264,376	49,733	225,052	12,502	615,979	—	615,979
営業利益	21,059	139,923	27,004	153,218	798	342,003	(6,248)	335,755

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度及び事業活動の相互関連性によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) アジア・オセアニア……………インドネシア、オーストラリア、東チモール、ベトナム
- (2) ユーラシア(欧州・NIS諸国)…アゼルバイジャン、カザフスタン、イギリス
- (3) 中東・アフリカ……………アラブ首長国連邦、コンゴ民主共和国、イラン、リビア、エジプト、
アルジェリア、アンゴラ
- (4) 米州……………ベネズエラ、エクアドル、アメリカ合衆国、カナダ、
スリナム、ブラジル

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	アジア・オセアニア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	318,216	36,424	354,641
II 連結売上高（百万円）			922,643
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	34.5	3.9	38.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・オセアニア…韓国、台湾、インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、
オーストラリア

(2) その他の地域………アメリカ合衆国

3 海外売上高は、本邦以外の国又は地域向け売上高であり、最終仕向地を基準としております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	アジア・オセアニア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	204,393	38,715	243,108
II 連結売上高（百万円）			615,979
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	33.2	6.3	39.5

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・オセアニア…韓国、台湾、インドネシア、シンガポール、タイ、インド、
オーストラリア、中国、フィリピン

(2) その他の地域………アメリカ合衆国、イタリア

3 海外売上高は、本邦以外の国又は地域向け売上高であり、最終仕向地を基準としております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

該当事項はありません。

6. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別 セグメント	区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
石油・天然ガス 関連事業	原油	60百万バレル (日量217千バレル)	60百万バレル (日量217千バレル)
	天然ガス	290十億CF (日量1,053百万CF)	306十億CF (日量1,114百万CF)
	小計	108百万BOE (日量393千BOE)	111百万BOE (日量403千BOE)
	石油製品	177千kl (1,116千バレル)	180千kl (1,133千バレル)
	ヨード	375t	322t
	発電	74百万kWh	88百万kWh

- (注) 1 海外で生産されたLPGは原油に含みます。ただし、国内の製油所にて生産されたLPGは石油製品に含みます。
 2 原油の生産量の一部は、石油製品の原料として使用しております。
 3 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。
 4 上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。また、上記の生産量は連結子会社及び持分法適用関連会社の決算日にかかわらず、4月1日から12月31日の実績となっております。
 5 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、原油92百万バレル(日量334千バレル)、天然ガス409十億CF(日量1,488百万CF)、合計160百万BOE(日量582千BOE)となります。なお、権益比率ベースのガス生産量算出にあたり、2009年3月期までは、井戸元(セパレーター分離後)で計量された鉱区100%ベースの生産量を用いておりましたが、2010年3月期より自社消費分、圧入分、フレア分、放散分、プラントにおけるプロセスロス、不活性ガスを含まず、性状調整による増減を加味した、買主への販売に対応した数量を用いて算出しております。
 6 BOE(Barrels of Oil Equivalent)原油換算量
 7 石油製品は換算後の数値を括弧内に記載しております。換算係数は1kl当たり6.29バレルです。
 8 ヨードは、他社への委託精製によるものであります。
 9 数量は単位未満を四捨五入しております。

②受注実績

当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。なお、石油・天然ガス関連事業は、受注生産を行っておりません。

③販売実績

- a) 当社グループは海外で生産された原油のうち当社取得権利量を、国内の精製会社をはじめ、国内外の需要家へ販売しております。インドネシアで生産された天然ガスはブルタミナを通じ、主にLNGとして日本の電力会社、都市ガス会社や、韓国、台湾等の需要家に販売しております。国内で生産された天然ガスはパイプラインを経由して沿線の需要家に販売しております。
- b) 当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

事業の種類別 セグメント	区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	
		石油・天然ガス 関連事業	原油	55,978千バレル	569,444
天然ガス	291,717百万CF		331,566	310,071百万CF	236,735
	LPG:1,535千バレル			LPG:2,655千バレル	
その他	20,178		17,518		
小計	921,189		613,989		
その他の事業		1,454		1,989	
合計		922,643		615,979	

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
- 2 決算日が12月31日の連結子会社につきまして、連結決算日で決算を行っている会社を除き、1月から9月の業績を連結しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。
- 3 販売量は、単位未満を四捨五入しております。
- 4 主要相手先別の販売実績及び総販売実績に対する割合は以下のとおりであります。なお、ブルタミナへの販売の大部分は天然ガスであり、その過半をLNGとして日本の需要家へ販売しております。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
ブルタミナ	272,260	29.5	178,064	28.9